

「祖母の左手をそっと両手で包み込んだ」僕は、どんなことを考えていただろう。

(またこの話を読んで感じたことを書いてみましょう。)

祖母への申し訳ない気持ちと、こんなこと、

取り返しがつかないことをしてしまっただけという後悔、

反省の気持ちや「頭の中で」おぼえて、祖母の顔
さへも、直視できなくなってしまうことを考えていた。

「と」感じることができて、この話を読んでみて、

誰かが持っているから、僕もほっといて、返信が

面倒くさいとまで、そんな自分勝手な気持ち、行動でして
いくと強く感じることができた。それ、それのよう

文面でのやり取りは、本当の気持ちが相手に100%

伝わるわけではないし、文にもあったけど、「不々々」という

言葉(で、聞かされて、それは本当に聞かされ、気さく
ようと感じることができた。「何のために買ったのか」それを

どうして一度思い返さないと後悔する

私はこの話を読んで自分も少し似ていると感じました。

中学生になって、部活や勉強で忙しくなり、平日の学校帰りも

「面倒くさい」と思ってしまう、おばあちゃんの家に行くことが

少なくなりました。でも、たまに行くと優しい笑顔でおかえりくれます。

これから、受験勉強でもっと忙しくなってしまうけど、

部活はもうすぐ終わってしまうから、時間をみつけて

もっと会いに行こうと思いました。

祖母は自分になれないスマホでし、かり一文一文考えながららうているのに自分はそんな祖母とのメールをめんどくさか、らて同じ文章しか送らないとか自分最低すぎでし、ごめんねと思、たと思、います。

私はこの物語を読んですごく考えさせられました。自分もず、とタブレットやテレビ、スマホばかり見ていてたまにしか祖父母としゃべらないのでもし祖父母もこれとし、しよのように自分としゃべ、てい、るときこんなふう、に考、えてく、れてるとなると、も、と時間を大切にしないとなと改めて思、わ、されました。

この物語をき、かけにし、かり家族との会話を増やしたいです。

ぼくは、この道徳を家族で話し合、い、て、人間の感情がAIやSNSなどの便利なツ、ル、は、お、て失われ、つ、あ、る、ように思、います。最近、は、僕自身も、周、りの人も、祖母のメールのよう、な、事、に、な、つ、て、い、る、と、思、い、ま、す。それで、思、った、の、か、い、解剖学者の養老孟司さんが言、つ、て、い、た、「機械が人間み、い、る、な、つ、て、い、る、の、で、は、な、く、人間が機械み、た、い、に、な、つ、て、い、る、と、思、い、ま、す。」最初、の、予、約、メールやコ、ピ、ー、は、機械も出、来、る、事、だ、け、ど、最後、の、「祖母の左手を右と両、手、で、こ、み、込、ん、だ、ら、は、機械にはでき、ず、人、や、さ、ら、に、い、ら、と、僕、吾、に、は、出、来、な、い、こ、な、の、か、も、し、れ、な、い、と、思、い、ま、した。」その時、僕、吾、は、祖母に謝、つ、ま、う、ら、し、て、い、た、の、だ、と、思、い、ま、した。僕、吾、は、この話、の、最後、に、「気、付、け、た、良、か、た、と、ほ、ど、は、思、い、ま、す。」

健吾は、自分がスマホを欲しいからおぼあちゃんとのことを理由にして買ってもらったことや何かあっても毎日メールを送ってくれるおぼあちゃんに対してめんどくさくなって毎日同じメールを送ってしまって後悔してると思う。それと同時に健吾のことを思ってメールしてくれるおぼあちゃんに感謝と、申し訳ない気持ちでいっぱいだと思う。私も、健吾の立場だったら何か欲しい物を手に入れようために悪く言えば人を利用していたかも知れない。これから自分の気持ちに負けて人を困らせることほくないようにしたい。私自身、自分に甘くせず、気持ちをコントロールして生活したい。

自分はめんどくさくて、毎回同じ内容で、祖母を思いやる気持ちもなく、メールを送るとけばいいだろうという考えだけでやりとりをしてたけど、祖母はちゃんと自分の事を思いやって、やりとりをしている所から思いやりの大切さが伝わってきました。祖母はスマホの使い方に慣れていながら、熱中症にかかって右手首を骨折までしているのに、時間をかけてでも、健吾にメールして自分の事よりも相手を優先しあげる優いさが感じられました。祖母が熱中症になっていなければ、健吾はずっと同じ内容の文をなんの感情もなく送り続けていくことになっていたから、この出陣で、人の大切さや思いやりの大切さに気づけてよかったと思いました。自分もスマホでよくメールをするけれど、この話をきっかけに、人を思いやる文章を送っているか、相手を無意識に傷けていないかよく考えてメールを送信していきたいと思いました。